

農産物検査員鑑定競技会で優良賞受賞



1月20日、JA全農あおもりと青森県JA農産物検査競技会が開いた第21回青森県JA農産物検査員鑑定競技大会で、南米穀センターの道川誠一さんが優良賞を受賞しました。

大会には県内の8JAから22人が参加し、水稻うるち米ともち米玄米40点を30分以内で等級判定し、400点の持ち点から等級相違と時間超過による減点方式で採点しました。



優良賞を受賞した道川さん

東北・北海道地区JA青年大会



青年部（古川誠二部長）は1月19日、山形県で開かれた「令和7年度東北・北海道地区JA青年大会」に出場しました。

同大会には、東北・北海道地区のJA青年部の代表14人が出場し、「青年の主張」と「組織活動実績」の2部門で発表しました。当JAからは、平賀地区の長内光史さんが青年の主張で「地域農業を継続するための学習活動実績」を発表し、優秀賞を受賞しました。



発表する長内さん

1月女性営農生活講座



営農課は、1月13日と27日に女性営農生活講座を開きました。

1月13日は糸かけアート教室を開き、約30人が受講しました。糸かけアートは、糸で規則的な模様を表現するアート手法で、受講者は木板に打ち込まれた釘に、色のついた糸を掛け、作品を完成させました。

1月27日にはポーセラーツ教室を開き、約20人が受講しました。ポーセラーツは、シールのような転写紙を使い、オリジナルの食器や雑貨を作るハンドクラフトで、この日はオリジナルのティーカップと丸皿を作りました。



糸かけアート教室



ポーセラーツ教室